

# 川崎市老人クラブ連合会活動

## ○活動の意義

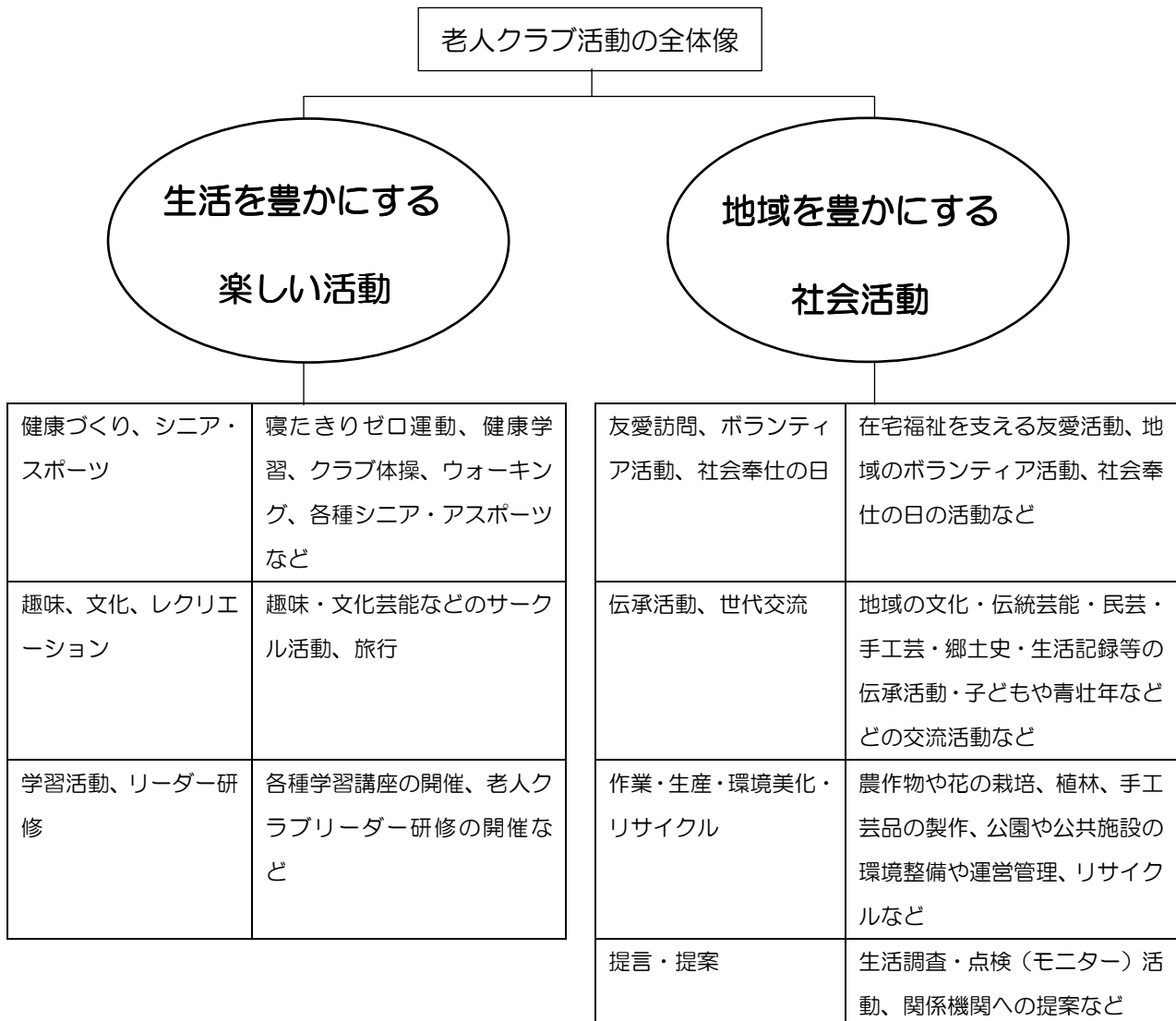
近年、少子高齢化が進み、高齢者人口の増加に伴い、高齢の夫婦世帯やひとり暮らしの高齢世帯が増加するなど、高齢者に関わる福祉課題や生活課題が顕在化し、地域社会を支える社会福祉システムの充実が求められています。

こうした本格的な超高齢社会を迎えて、住み慣れた地域の中でいつまでも元気に安心して暮らせるまちづくりを推進していくことは私たち高齢者にとっても大きな責務であり役割であると考えます。

公益財団法人川崎市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。愛称：多摩川クラブ川崎）は「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」をその活動の大きな柱として掲げております。

「自ら楽しみ、また人とともに楽しむ」をその基本精神として、全国三大運動＜健康・友愛・奉仕＞を展開しながら、地域を支える活動に取り組みます。

## ○川崎市老人クラブ連合会 活動全体像



## ○老人クラブのメインテーマと全国三大運動

1 メインテーマ 「**伸ばそう！ 健康寿命、担おう！地域づくりを**」

2 全国三大運動 「**健康・友愛・奉仕**」

### <健康を進める運動>

昭和55年、「病にかからぬ運動」として始まった初の全国運動で、昭和59年に改称しました。

現在、第7次の運動期間を迎え、“地域に健康づくり・介護予防の輪を広げよう！”をスローガンに、誰もが願う健康で生きがいのある生活の実現と医療や介護など制度・施策の健全な発展をめざして、健康づくりに関する学習・実践・点検活動や閉じこもり・孤立の予防活動の裾野を広げながら、会員をはじめとする地域高齢者の健康保持・増進に取り組んでいます。

### <在宅福祉を支える友愛活動>

当初「友愛活動」は、「健康を進める運動」の実践課題の一つとして取り組んできました。昭和61年に独立した運動となり、『社会奉仕の日』一斉奉仕活動」とともに、「健康」「友愛」「奉仕」の全国三大運動となりました。全老連創立30周年を機に、平成4年からは「在宅福祉を支える友愛活動」として展開しています。

“くらしを支える笑顔の訪問”をスローガンに、話し相手を基本としながら、必要に応じて家事援助、生活援助、外出支援などを行い、高齢者同士の心と心のふれあいをおして、病弱、ねたきり、ハンディキャップを持つ高齢者とその家族を支援しています。

### 《「社会奉仕の日」一斉奉仕活動》

昭和年、「敬老の日」に感謝する行事として、神奈川県・横浜市・川崎市で始まった「社会奉仕に日7」（9月20日）は、各地の会員の共感と賛同を得て、翌年から全国10数県に広がりました。昭和61年に全国運動となり、現在に至っています。

“きれいな地球を子供たちへ”のスローガンのもと、従来の清掃・美化活動や緑化・花づくり活動に加え、マイバックの持参や節水・節電の呼びかけ、資源ゴミの回収や不用品のリサイクル活動など、環境問題への取り組みを推進します。

### 【「老人の日・老人週間」の取り組み】

平成15年から、それまで9月15日と定められていた「敬老の日」は、9月の第3月曜日になりました。老人クラブでは、この法案成立の過程で、国民自らが築きあげてきた、いわば我が国の老人福祉の記念日といえる9月15日を残そうと関係各方面に働きかけ、その結果、老人福祉法改が改正され、平成14年から新たに9月15日が「老人の日」、同日から1週間が「老人週間」となりました。

「老人の日・老人週間」の取り組みは、この制定を記念してスタートした運動で、“仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！”をスローガンに掲げ、9月15日を中心に老人週間の期間中、「健康」「友愛」「奉仕」の全国三大運動を積極的に展開し、高齢者の行動姿勢をひろくPRしています。